

ほけんだよら

11月



本校ホームページにカラーで掲載中！

埼玉大学教育学部
附属特別支援学校
保健室
R4.11.11

こころとからだの学習の
「体の部位の名称と働き」について、
「数の学び」と合わせて取り組んでいます！

11月のお話と体操をおこないました。

まず、いつものように前の月の振り返りです。

私たちの口の中に最初に生えてくる子どもの歯が、下から10本、上から10本生えてきて、その後に大人の歯に生え変わるお話と歌に合わせて体操をしたことを思い出しました。

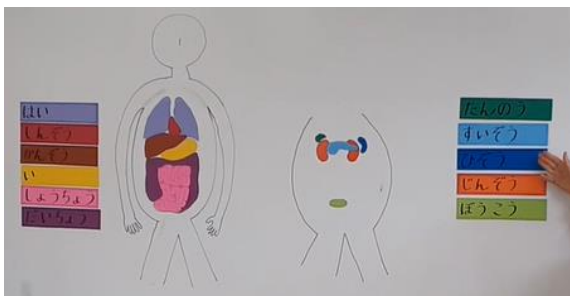


そして、11月…

私たちの体の中の11個あるところのお話です。

五臓六腑という言葉の中に含まれている、5と6の数を足し算すると11になります。今回は、11個の内臓の形と名前を紹介しました。

また、五臓六腑という言葉については、「中国のお医者さんが読む本の中で、一番古い本にも出てくるといわれていて、今は、人間の内臓全体を表す時に使われます。」と説明をしました。



「こんな形の内臓、これは、〇〇」…というように、

11個も同じような紹介が続くので、飽きてしまう子がないかと心配もありましたが、子どもたちは、ざわつくことなく、しっかりと聞いてくれていました。

紹介の最後に、この内臓の色は、形がわかりやすいように選んだ色で、本当の内臓の色とは違いますので注意してくださいと伝えて、体操に進みました。

ごーろごーろ ごーろごーろ

ごぞうろっふともうします (そりゃ)

ごーろごーろ ごーろごーろ

からだのなかでうごいています (そりゃ)

という歌に合わせて体を動かしました。



一番盛り上がったのは、祭り姿で登場した将田さんの(そりゃ)という掛け声とポーズのところでした。子どもたちの楽しそうな笑い声とマスク越しではありますが、笑顔もあふれていました。

【性に関する指導とのつながり】

「男性のからだ」「女性のからだ」を学ぶ際には、生殖器の働きを学ぶことになります。しかし、いきなり生殖器の説明をするよりも、男女が持っている同じ内臓の話をしておくことで、自然な流れで生殖器についての学びを始められるのではないのでしょうか。

附属小から届く「もりもり通信」(その日の給食についての話題が書かれていて、本校の放送委員が給食時に読んでくれています。)にも「腸」や「大腸」という言葉が出てくることがあります。食事に関する話題の中にも、性に関する指導の小さなつながりを発見することができます。